

協議

## 第2期上尾市スポーツ推進計画（案）



挨拶文



# 目次

<b>第1章 計画の概要</b> .....	<b>1</b>
1 計画策定の趣旨 .....	3
2 計画の期間 .....	4
3 計画におけるスポーツの定義 .....	4
4 本計画の位置づけ .....	5
<b>第2章 上尾市のスポーツの現状と課題</b> .....	<b>7</b>
1 上尾市を取り巻く環境 .....	9
(1) 人口 .....	9
(2) 子どもの体力 .....	10
(3) 健康寿命の推移 .....	11
2 上尾市スポーツ施設の状況 .....	12
3 市民のスポーツ活動の実態 .....	13
(1) 市民意識調査（18歳以上市民のスポーツ活動の現状） .....	14
(2) 児童生徒調査（小学生・中学生のスポーツ活動の現状） .....	20
(3) 団体調査（市内で活動する団体のスポーツ活動の現状） .....	23
4 第1期計画のまとめ .....	26
5 アンケート結果などに基づく課題の整理 .....	29
<b>第3章 具体的な施策展開</b> .....	<b>31</b>
1 基本方針 .....	33
(1) 基本指針 .....	33
(2) 持続可能な社会に向けた動き .....	34
(3) 技術革新の進展 .....	35
2 数値目標 .....	36
3 施策の体系 .....	37
4 施策の展開 .....	38
基本目標1 誰もがスポーツに楽しめる環境の充実.....	38
基本目標2 誰もがスポーツに楽しめる機会の充実.....	39
基本目標3 地域におけるスポーツ活動の活性化の推進.....	43
基本目標4 子どものスポーツ活動の充実.....	45
<b>第4章 計画の推進</b> .....	<b>47</b>
1 推進体制 .....	49
2 進行管理 .....	49



# 第1章 計画の概要





# 1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化などによる人口構造の急激な変化や情報化の進展、環境問題の深刻化などにより社会全体が大きく変化し続けている中で、「共生社会の実現」「青少年の健全な育成」「健康長寿社会の実現」「地域の活性化」といったスポーツがもたらす効果に対して、その重要性が改めて認識されています。

国では平成29(2017)年に「第2期スポーツ基本計画」が策定され、新しい時代におけるスポーツの価値や意義が示されるとともに、「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことが基本指針として提示されています。さらに、「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を前に、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務とするスポーツ庁が設置されました。そして、平成28(2016)年に開催されたりオデジャネイロオリンピック競技大会では、日本選手団が史上最多となる41個のメダルを獲得し、続くパラリンピックでは前回のロンドン大会を上回る24個のメダルを獲得したり、令和元(2019)年に開催されたラグビーワールドカップ2019™日本大会では、日本がアジアラグビー史上初の8強進出を遂げました。日本選手団の活躍に日本中が熱狂し、これまで報道されることが少なかったパラリンピックについても、大きく取り上げられるようになりました。これから市がスポーツ推進に取り組むにあたっては、このような環境変化を的確に捉えていかなければなりません。

市では、平成26(2014)年度に「上尾市スポーツ推進計画」を策定し、「健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進、を基本指針としてスポーツ推進に努めてきました。

本計画は、第1期計画の計画期間が終了することに伴い、国及び県の新しいスポーツの取組、そして令和3(2021)年度からの市の新たな総合計画の考え方などを踏まえ、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までを計画年として、新たに「第2期上尾市スポーツ推進計画」を策定し、市が抱える課題を反映した具体的な施策を定めるものです。

## 2 計画の期間

本計画は、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間を計画期間とします。

	令和 3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)	8 (2026)	9 (2027)	10 (2028)	11 (2029)	12 (2030)
第6次上尾市総合 計画	基本構想(10年間)									
	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)				
第3期上尾市教育 振興基本計画	5年間									
第2期スポーツ推 進計画	5年間									

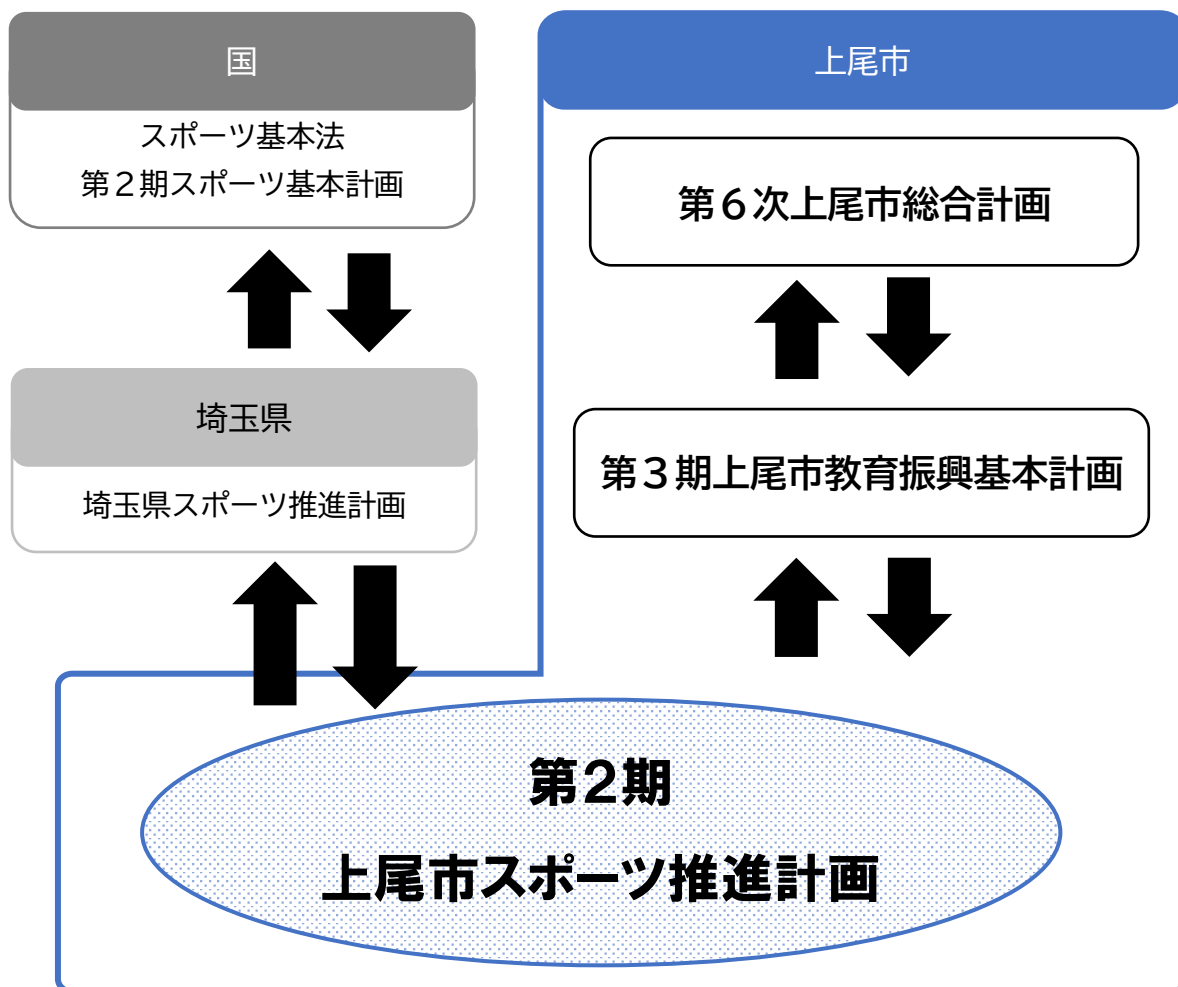
## 3 計画におけるスポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは、ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の強い運動やスポーツだけでなく、ウォーキング、ラジオ体操など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。

そのほか、スポーツは「する」ものという考え方が一般的ですが、必ずしもそれだけとは限らず、スポーツ観戦や友人のスポーツを応援する「みる」こと、競技スポーツの指導やスポーツイベントのボランティアによる「ささえる」こともあります。そこで本計画では、「する」こと、「みる」こと、「ささえる」ことを、広くスポーツとの関わり方としています。

## 4 本計画の位置づけ

本計画は、市の最上位計画である「第6次上尾市総合計画」の下、その他個別計画や、国の「スポーツ基本法」及び「第2期スポーツ基本計画」、県の「埼玉県スポーツ推進計画」との整合性を図った上で、市のスポーツに係る基本計画として策定します。





## **第2章 上尾市のスポーツの現状と課題**

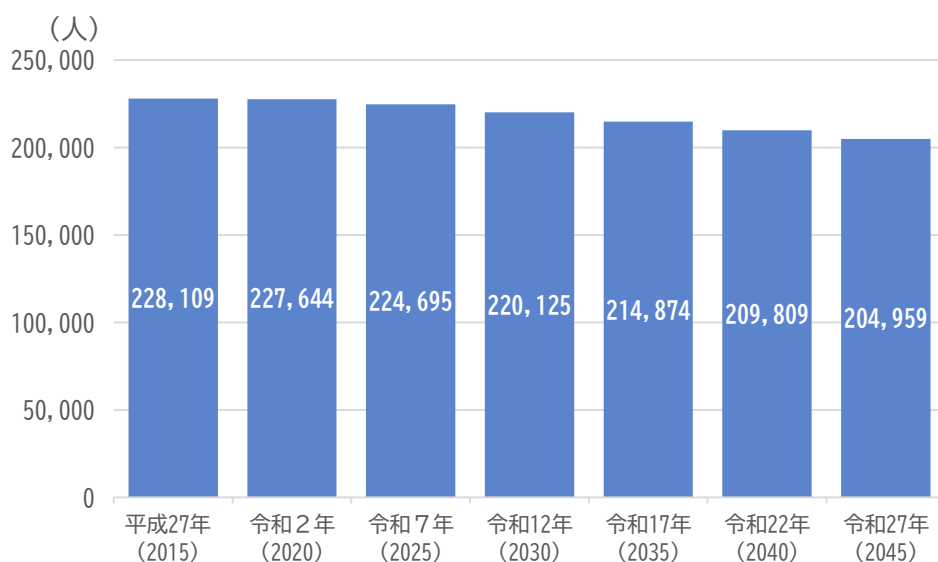


# 1 上尾市を取り巻く環境

## (1) 人口

市の人口は、平成27(2015)年から横ばいの推移となっておりますが、令和7(2025)年頃から減少傾向に転じ、令和27(2045)年には23,150人(10.1%)減少し、204,959人になると見込まれます。

年齢区分別にみると、生産年齢人口(15~64歳)は減少傾向で推移し、令和27(2045)年には平成27(2015)年と比べて23.3%減少して、総人口に対する割合が53.0%になると予測されています。一方、老年人口(65歳以上)の割合は上昇し、令和27(2045)年には人口の3割以上を占めると予測されています。



	平成27(2015)年	令和27(2045)年
年少人口	29,384人(12.9%)	21,170人(10.3%)
生産年齢人口	141,488人(62.0%)	108,552人(53.0%)
老年人口	57,237人(25.1%)	75,237人(36.7%)

出典：上尾市「上尾市推計人口及び将来展望推計人口について」(令和2(2020)年)

※令和2(2020)年以降は推計値

## (2) 子どもの体力

子どもの体力・運動能力は、昭和60(1985)年から現在まで全国的に低下傾向が続いています。

また、過去5年間の市内の子どもの体力・運動能力について、小学生は埼玉県平均値を下回って推移している一方、中学生は県平均値を上回ることが多くみられます。5年間で増減を繰り返しながらも、小学生・中学生ともに体力低下が見受けられます。

子どもの体力(全国平均値)の比較(昭和60(1985)年・令和元(2019)年)

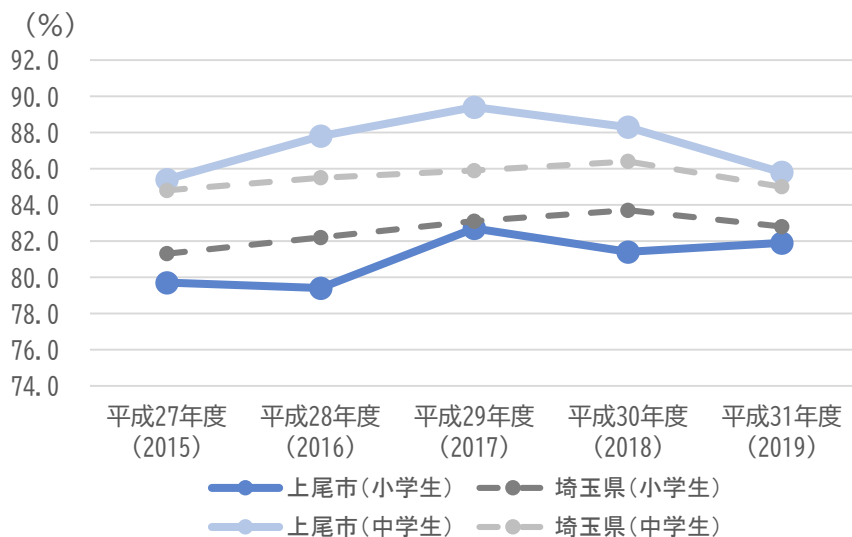
	握力(kg)		反復横跳び(点)		50m走(秒)		ボール投げ <sup>※1</sup> (m)		持久走 <sup>※2</sup> (秒)	
	S 60	R01	S 60	R01	S 60	R01	S 60	R01	S 60	R01
小5男子	18.35	16.37	39.46	41.74	9.05	9.42	29.94	21.60	—	—
小5女子	16.93	16.09	37.94	40.14	9.34	9.63	17.60	13.59	—	—
中2男子	31.61	28.64	—	—	7.90	8.02	22.10	20.35	366.40	400.03
中2女子	25.56	23.74	—	—	8.57	8.81	15.36	12.87	267.11	290.55

※1：小学生は「ソフトボール投げ」、中学生は「ハンドボール投げ」

※2：男子は1,500m、女子は1,000m

出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

体力総合評価<sup>※3</sup> 市内平均値と埼玉県平均値の推移



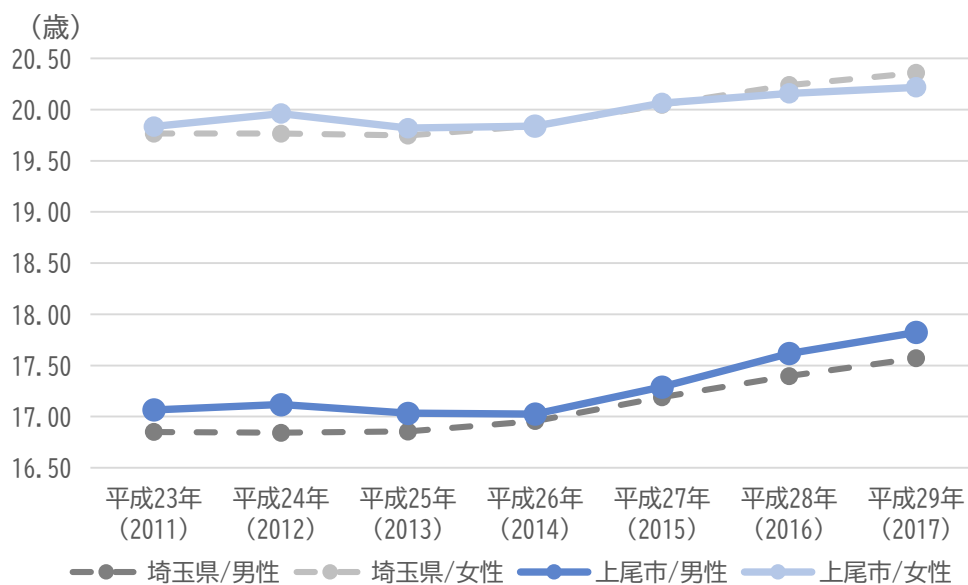
※3：総合評価とは体力テストにおけるA、B、Cの合計値

出典：埼玉県「埼玉県児童生徒の新体力テスト」



### (3) 健康寿命の推移

市の65歳健康寿命<sup>※</sup>をみると、男性は年々増加しており県を上回る数値となっています。女性は平成25(2013)年までは増減を繰り返しながらも県を上回る数値となっていました。しかし、平成26(2014)年以降、市の数値は増加傾向にありますが、県を下回る結果となっています。



出典：埼玉県「埼玉県健康指標総合ソフト」

#### ※ 健康寿命

埼玉県では、65歳に達した人が健康で自立した生活を送ることができる期間、具体的には、介護保険制度の「要介護2以上」になるまでの期間を「健康寿命」として算出しています。

## 2 上尾市スポーツ施設の状況

現在市内で利用可能なスポーツ施設などについては以下のとおりです。

(令和2(2020)年4月1日現在)

	名称	種別
1	上尾市平方スポーツ広場	野球場・ソフトボール場 グラウンドゴルフ・ゲートボール場・多目的広場
2	上尾市平方野球場	野球場
3	浅間台大公園	多目的広場
4	上尾市民球場	野球場
5	平塚ゲートボール場	ゲートボール場
6	上尾市平塚サッカー場	サッカー場
7	上平公園テニスコート	テニスコート
8	平塚公園テニスコート	
9	戸崎公園	パークゴルフ場
10	上尾市民体育館	体育館・テニスコート
11	平方公民館	集会室兼体育室
12	原市公民館	集会室兼体育室
13	大石公民館	集会室兼体育室
14	上平公民館	集会室兼体育室
15	大谷公民館	集会室兼体育室

## 3 市民のスポーツ活動の実態

### 1. 調査目的

上尾市スポーツ推進計画の策定に向けて、市民、児童生徒の運動・スポーツの実施状況や意識を把握するとともに、スポーツ関係団体などの実態を調査し、市におけるスポーツ推進の現状と課題を把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

### 2. 調査対象及び回収状況

調査名	調査対象	配布件数	回収数	回収率	
①市民	市内在住の18歳以上の市民	3,000件	1,259件	42.0%	
②児童生徒	(ア)小学生	市内小学校に通う小学生	457件	419件	91.7%
	(イ)中学生	市内中学校に通う中学生	477件	443件	92.9%
③団体	市内のスポーツ関連団体	43件	41件	95.3%	

### 3. 調査期間と調査方法

調査期間:令和2(2020)年6月19日～令和2(2020)年7月17日

調査方法:①市民:郵送配布－郵送回収

②児童生徒:協力依頼した学校において配布・回収

③団体:郵送配布－郵送回収

### 4. 調査結果を見るうえでの注意事項

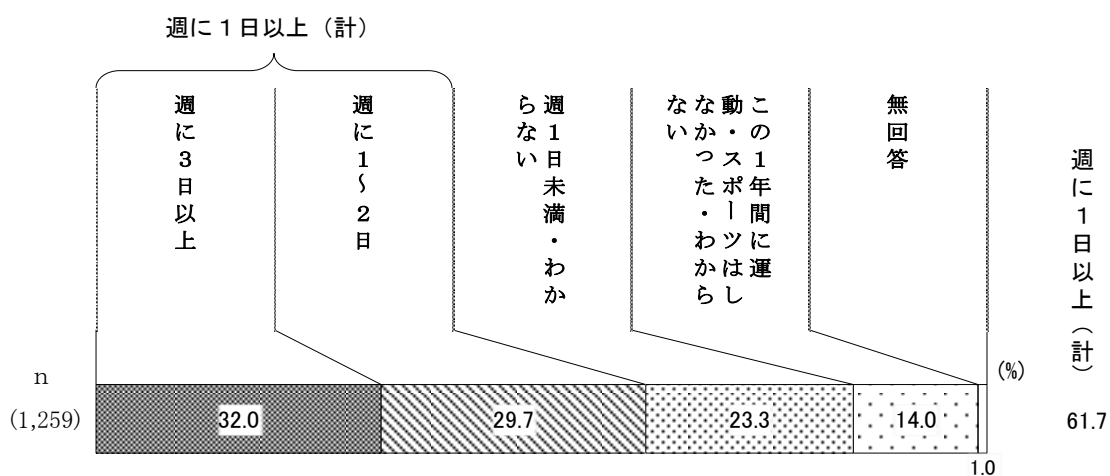
- (1)本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2)百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示します。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- (3)複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- (4)回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

# (1) 市民意識調査（18歳以上市民のスポーツ活動の現状）

## ア スポーツ実施状況について

- (ア) 週に1日以上運動・スポーツを実施する人の割合は61.7%となっています。
- (イ) 30代で週1日以上運動・スポーツを実施している人は他の年代に比べて少ないです。
- (ウ) 40代以降は年代が高くなるにつれて、おおむね実施率も高くなっています。
- (エ) 「この1年間に運動・スポーツはしなかった」「わからない」は14.0%です。

スポーツの実施頻度・実施率(市民)



年代別のスポーツ実施頻度・実施率(市民)

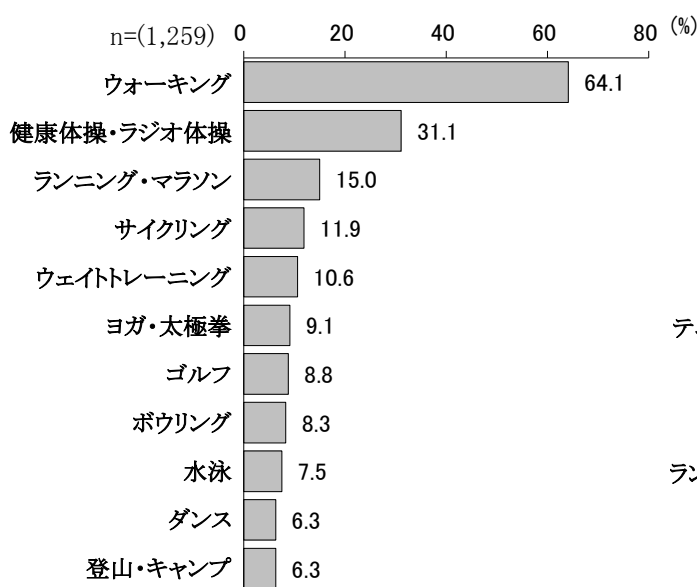
	調査数	週に3日以上	週に1〜2日	週1日未満・わからない	この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	無回答	週に1日以上 (計)
全体	1,259	32.0	29.7	23.3	14.0	1.0	61.7
18〜19歳	21	38.1	23.8	28.6	4.8	4.8	61.9
20〜29歳	92	17.4	27.2	40.2	15.2	-	44.6
30〜39歳	138	15.9	23.9	41.3	18.1	0.7	39.9
40〜49歳	247	20.2	35.2	30.0	13.8	0.8	55.5
50〜59歳	194	23.7	34.0	24.7	16.5	1.0	57.7
60〜69歳	204	42.2	26.0	15.2	16.2	0.5	68.1
70〜79歳	270	51.5	29.3	8.9	8.9	1.5	80.7
80歳以上	82	40.2	26.8	15.9	14.6	2.4	67.1
無回答	11	27.3	36.4	27.3	9.1	-	63.6

(オ)現在実施しているスポーツでは「ウォーキング」が 64.1%で一番多く、次いで「健康体操・ラジオ体操」「ランニング・マラソン」となっています。

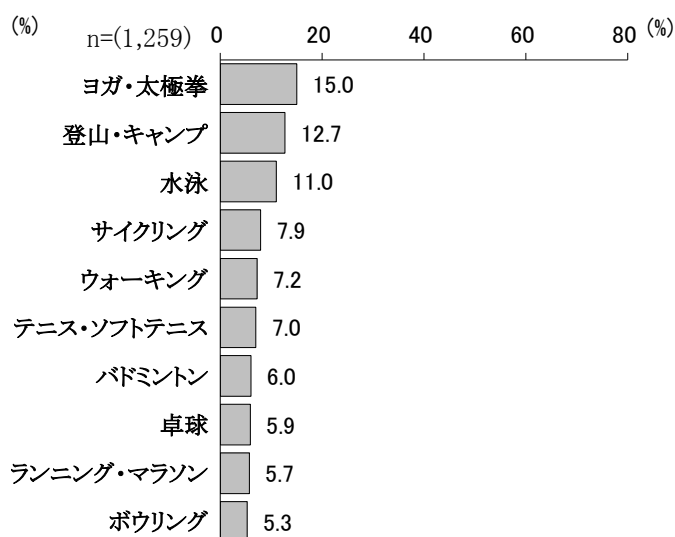
(カ)今後行ってみたいスポーツとしては、「ヨガ・太極拳」「登山・キャンプ」「水泳」が挙げられています。

(キ)個人で実施可能な種目にニーズが高まっており、野球やサッカーなどの団体種目のニーズは比較的低くなっています。

現在実施中のスポーツ(上位 10 種目)(市民)

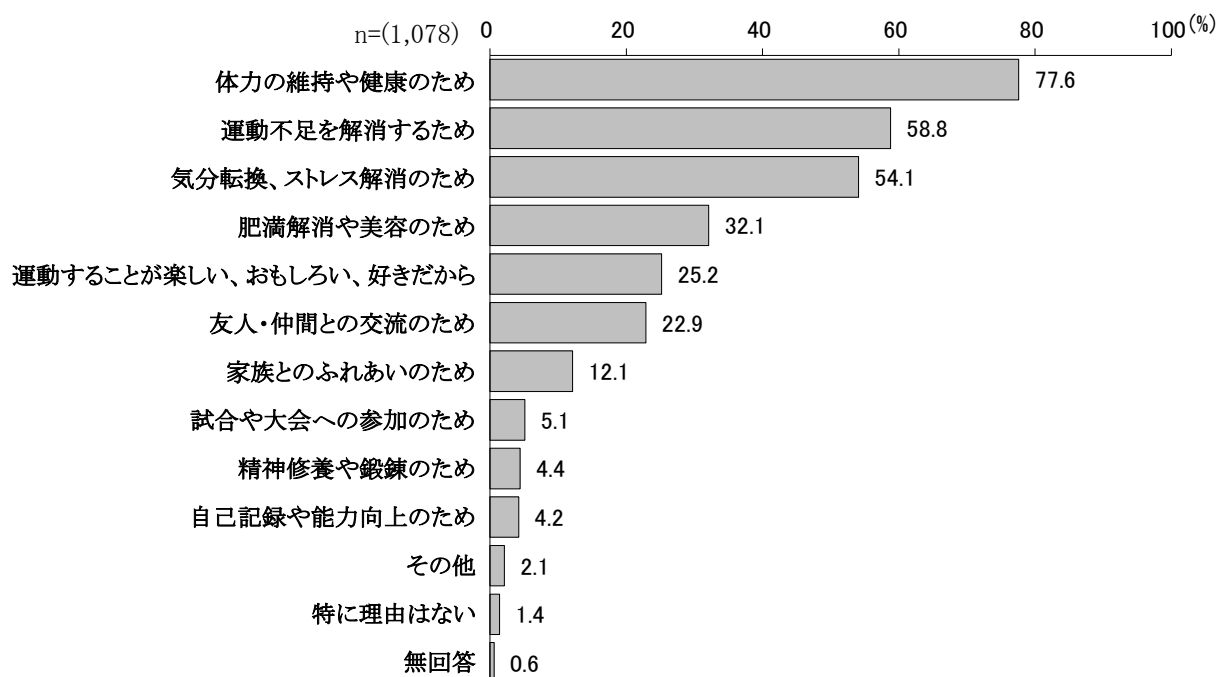


実施したいスポーツ(上位 10 種目)(市民)



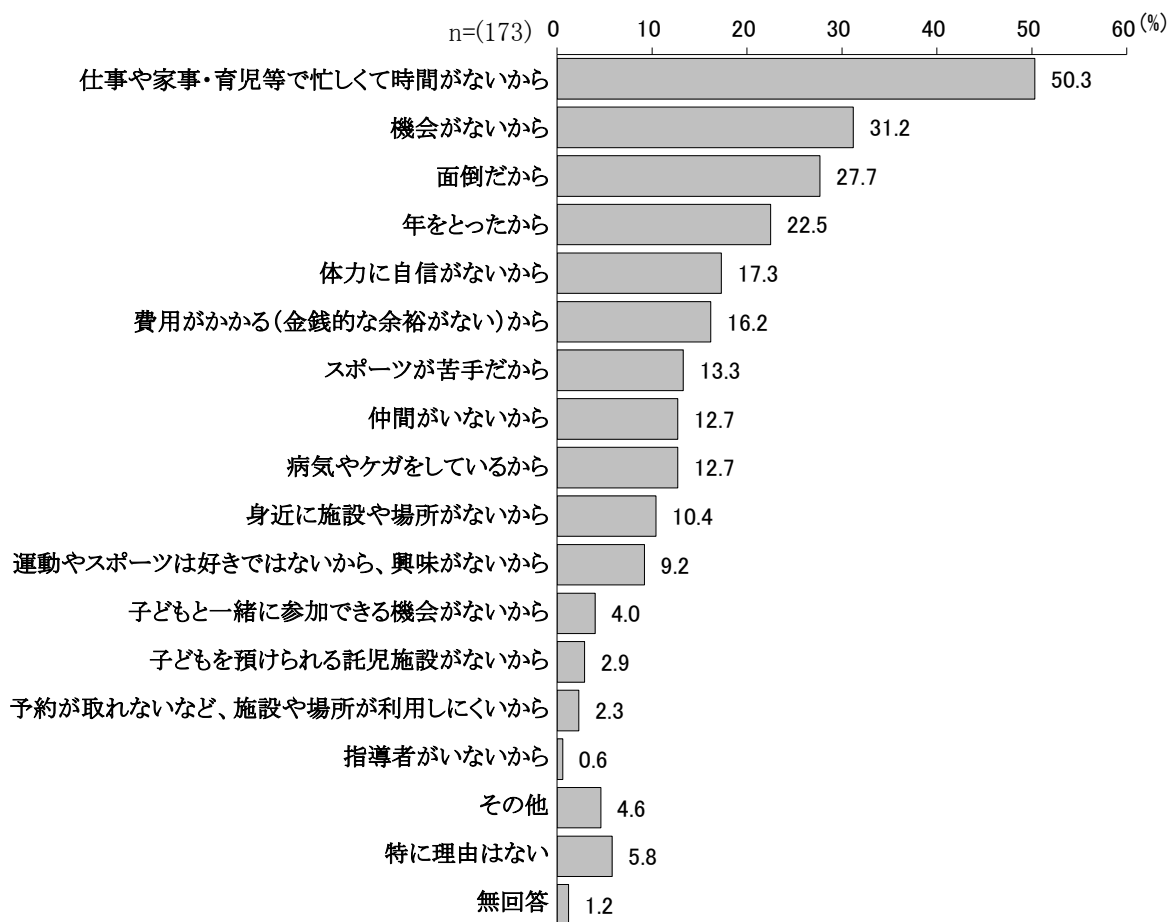
(ク)運動・スポーツを行う理由は、「体力の維持や健康のため」が 77.6%で最も多く、次いで、「運動不足を解消するため」が 58.8%、「気分転換、ストレス解消のため」が 54.1%となっています。

運動やスポーツをする理由(市民)



(ケ) 運動・スポーツを行っていない理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が50.3%で最も多くなっています。次いで、「機会がないから」「面倒だから」「年をとったから」といった理由が多くなっています。

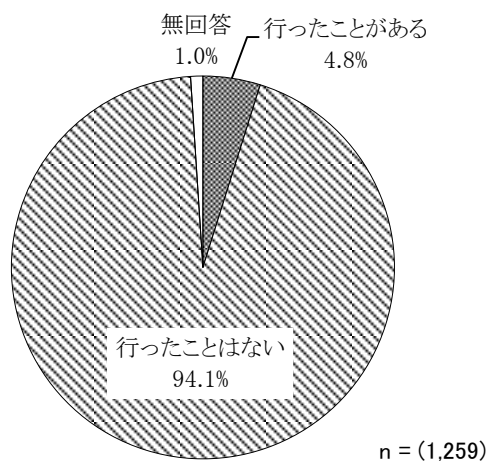
運動やスポーツを行っていない理由(市民)



## イ スポーツボランティア・イベントについて

(ア) 過去1年間のスポーツに関するボランティア活動への参加率は4.8%にとどまっています。

過去1年間のスポーツに関するボランティア活動の実施状況(市民)



## ウ スポーツ観戦について

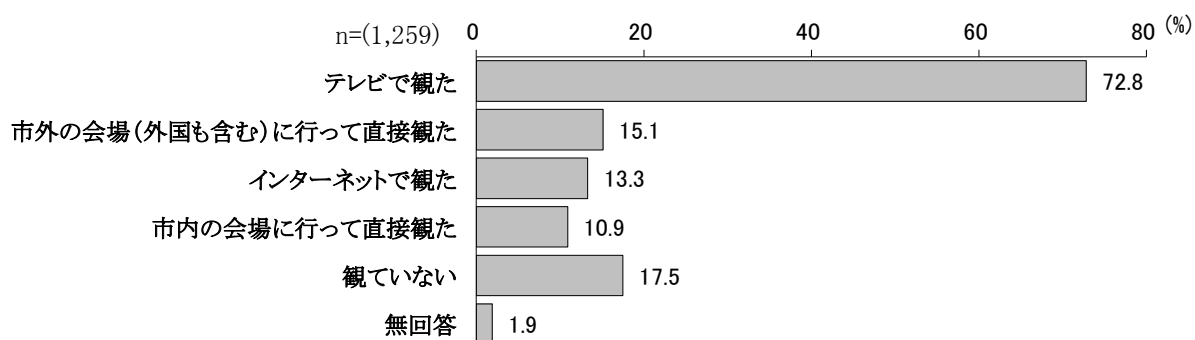
(ア) この1年間にスポーツを「テレビで観た」は72.8%、「市外の会場に行って直接観た」は15.1%

(イ) 「観戦していない」人は17.5%でした。

(ウ) 「テレビで観た」と「インターネットで観た」を合わせた『テレビ・インターネットで観戦した(計)』は74.4%、「市外の会場(外国も含む)に行って直接観た」と「市内の会場に行って直接観た」を合わせた『現地で観戦した(計)』は22.2%となっています。

※「テレビで観た」、「インターネットで観た」、「市外の会場(外国も含む)に行って直接観た」、「市内の会場に行って直接観た」の回答者は重複するため、『テレビ・インターネットで観戦した(計)』『現地で観戦した(計)』の割合は、個別の割合の合計値よりも少なくなっています。

過去1年間のスポーツ観戦状況(市民)

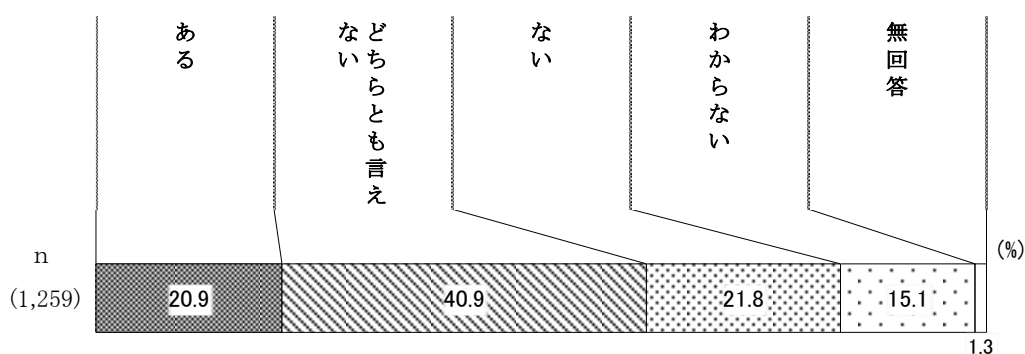


## エ 障がい者スポーツについて

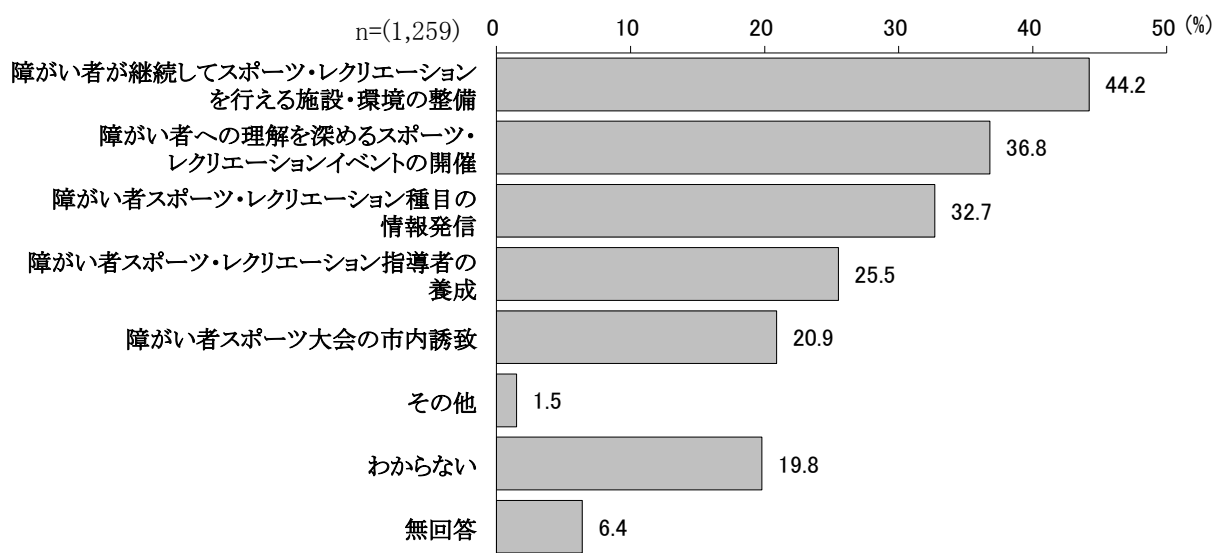
(ア) 障がい者スポーツに関心が「ある」は20.9%となっています。

(イ) 障がい者スポーツを推進するために取り組むべきことは、「障がい者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が44.2%で最も多く、「障がい者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が36.8%で続いています。

障がい者スポーツへの関心度(市民)



障がい者スポーツの推進のために、市が取り組むべきだと思うこと(市民)

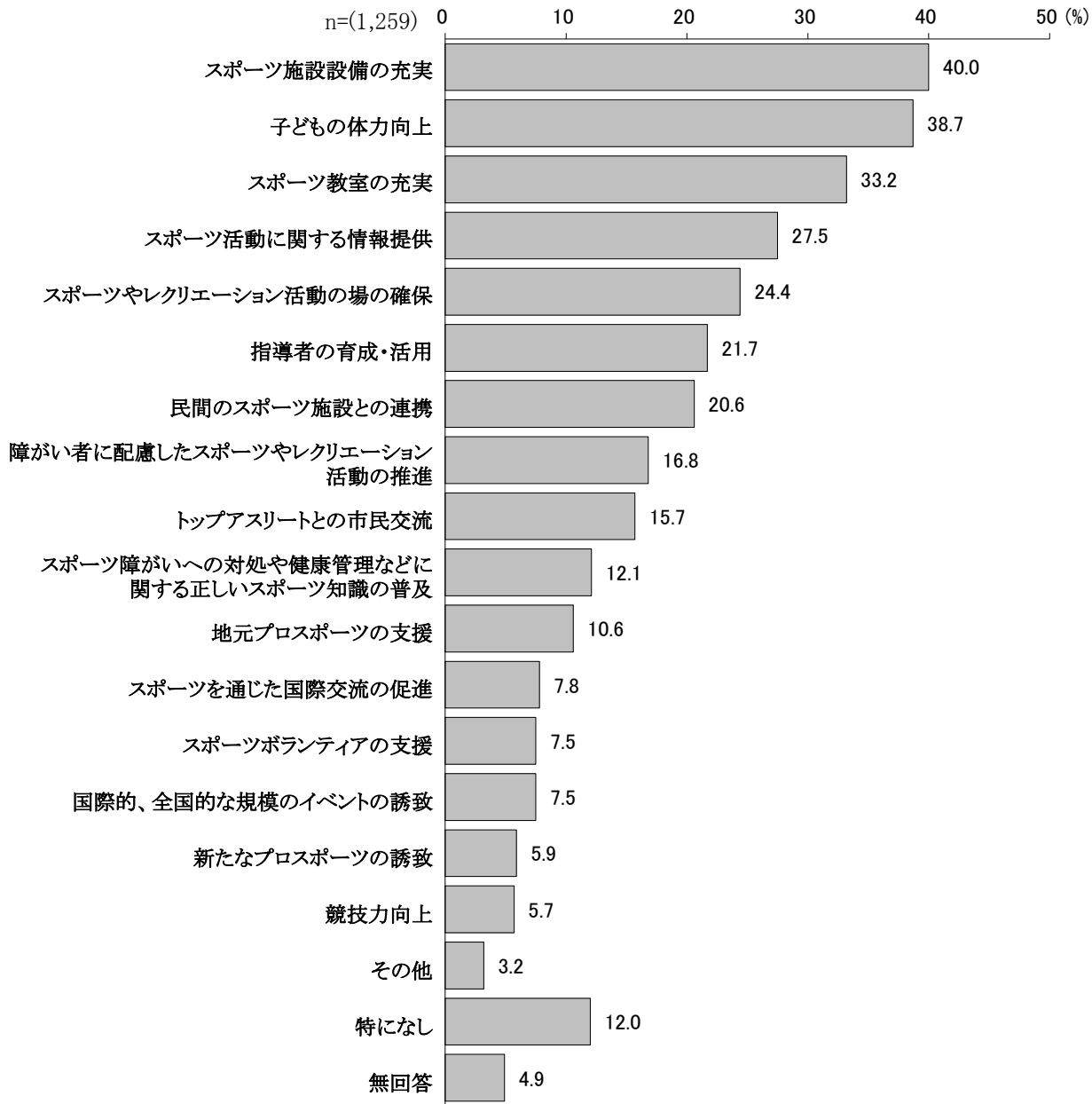




## オ スポーツ施策について

(ア) 今後市に力を入れてほしいこととして、「スポーツ施設設備の充実」が40.0%で最も多く、次いで「子どもの体力向上」が38.7%、「スポーツ教室の充実」が33.2%となっています。

運動・スポーツをもっと振興させるために、市に力を入れてほしいこと(市民)

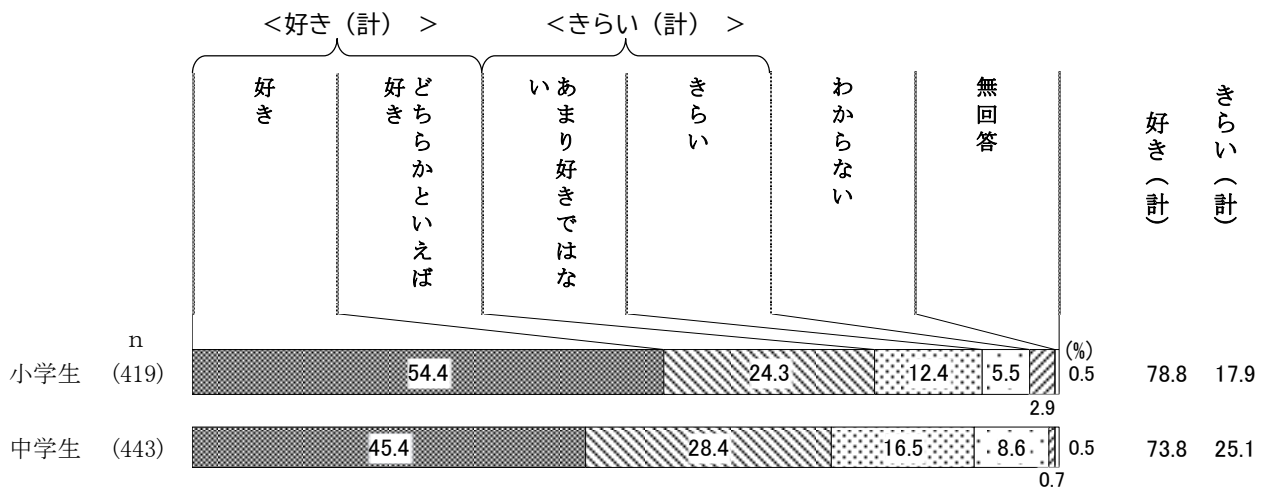


## (2) 児童生徒調査（小学生・中学生のスポーツ活動の現状）

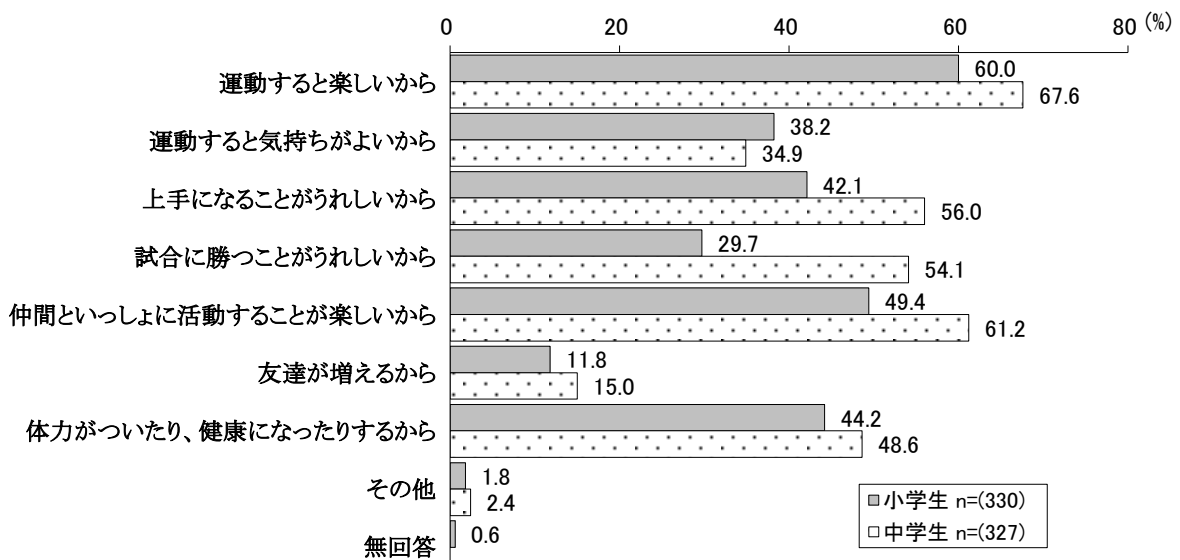
### ア スポーツ実施状況について

- (ア) 「運動が好き」と回答した小学生は78.8%となっており、好きな理由としては「運動すると楽しいから」が多く挙げられています。
- (イ) 「運動が好き」と回答した中学生は73.8%となっており、好きな理由としては「運動すると楽しいから」「仲間といっしょに活動することが楽しいから」が多く挙げられています。
- (ウ) 「運動が嫌い」と回答した小学生は17.9%、中学生は25.1%となっています。
- (エ) 体育の授業のほかに、運動やスポーツをしなかった理由として、小中学生ともに「運動が得意ではないから」が多く挙げられています。

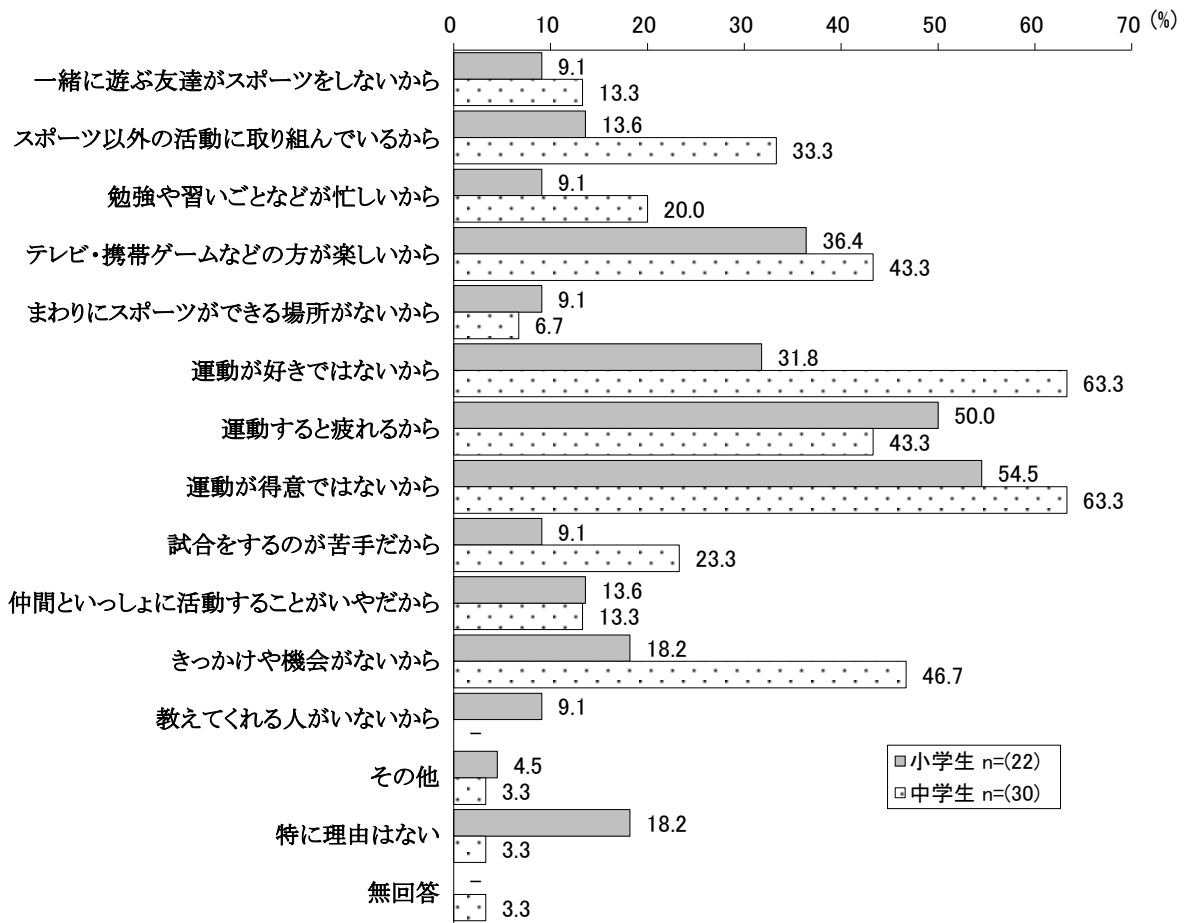
運動やスポーツをするのが好きか(小学生・中学生)



運動やスポーツが好きな理由(小学生・中学生)



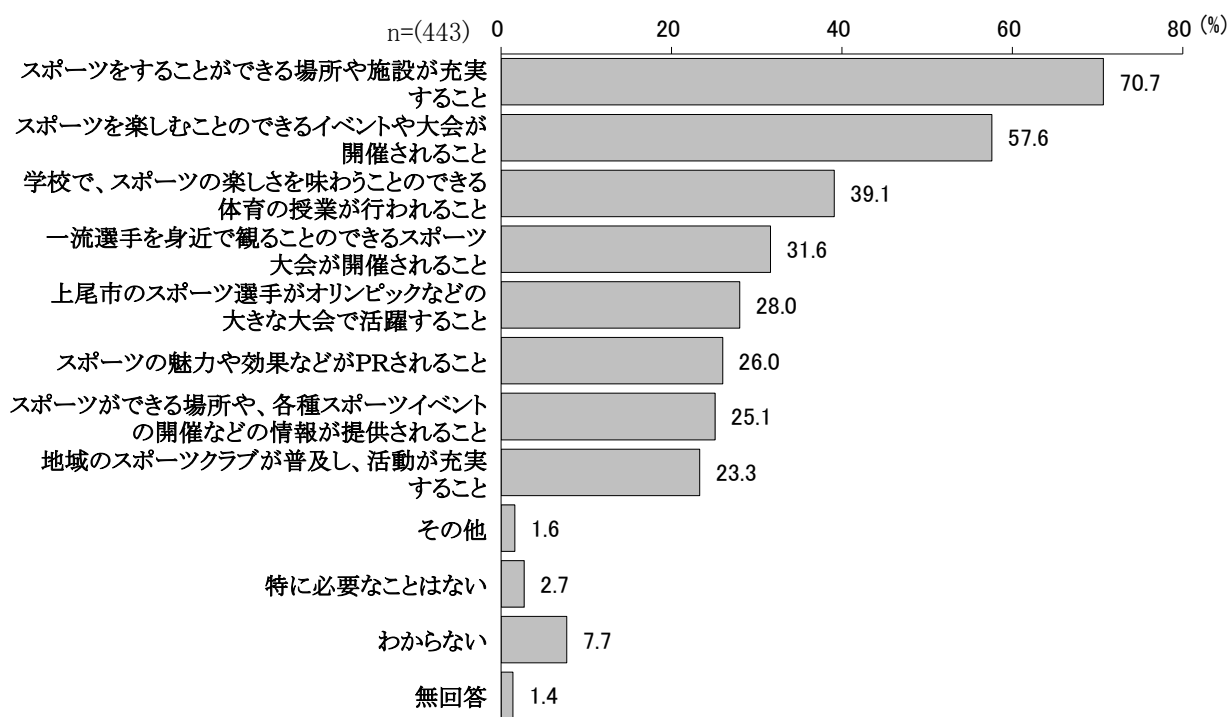
体育の授業のほかに、運動やスポーツをしなかった理由(小学生・中学生)



## イ スポーツ全般について

(ア) スポーツをする人が増えるために必要なこととして、「スポーツをすることができる場所や施設が充実すること」が70.7%で最も多く、次いで「スポーツを楽しむことのできるイベントや大会が開催されること」が57.6%、「学校で、スポーツの楽しさを味わうことのできる体育の授業が行われること」が39.1%となっています。

スポーツをする人が増えるために必要だと思うこと(中学生)

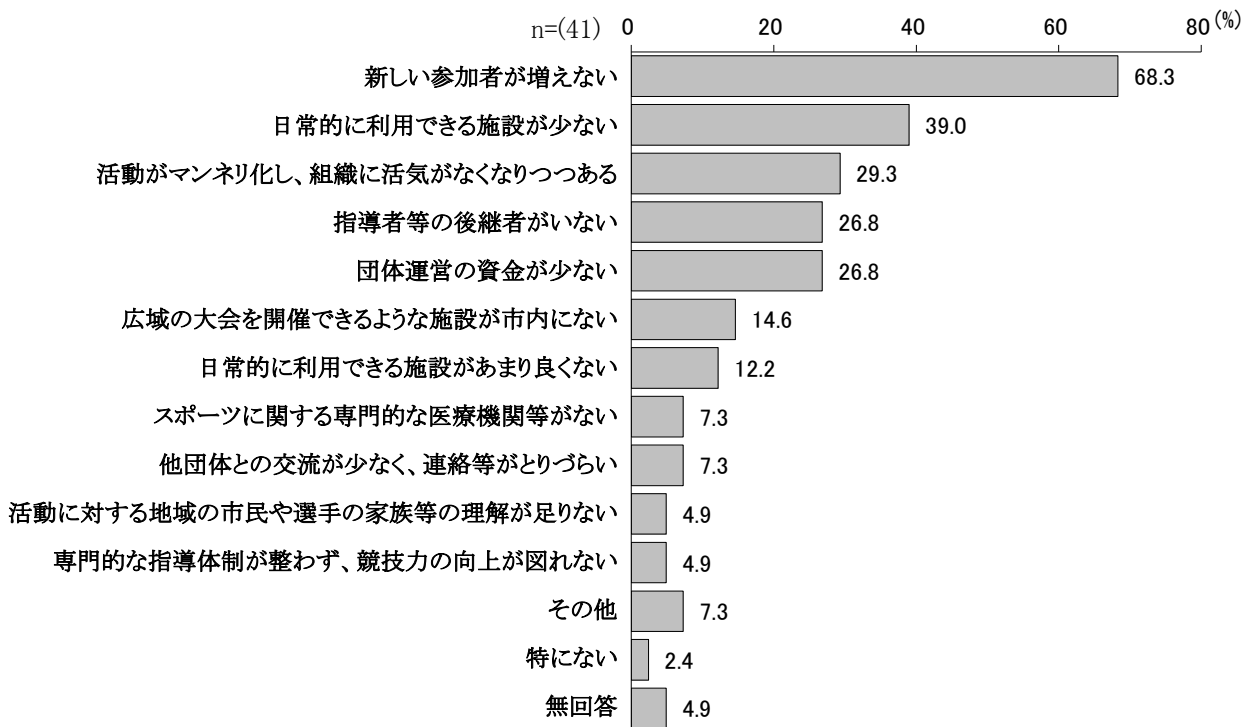


### (3) 団体調査（市内で活動する団体のスポーツ活動の現状）

#### ア 団体の活動状況について

(ア) 活動をする上での不都合や問題点として、「新しい参加者が増えない」が 68.3%で最も多く、次いで「日常的に利用できる施設が少ない」が 39.0%となっています。

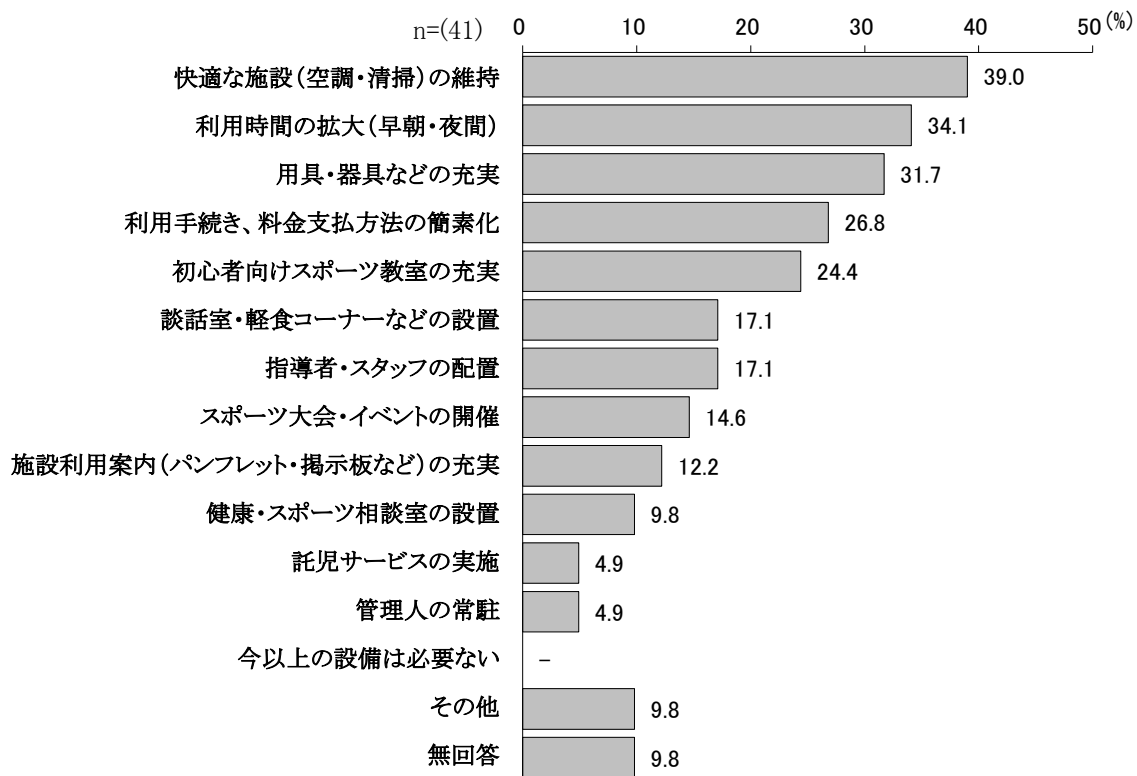
活動をする上で不都合や問題点(団体)



## イ スポーツ施設について

(ア) 公共スポーツ施設に必要なことでは、「快適な施設（空調・清掃）の維持」が39.0%で最も多く、次いで「利用時間の拡大（早朝・夜間）」が34.1%、「用具・器具などの充実」が31.7%となっています。

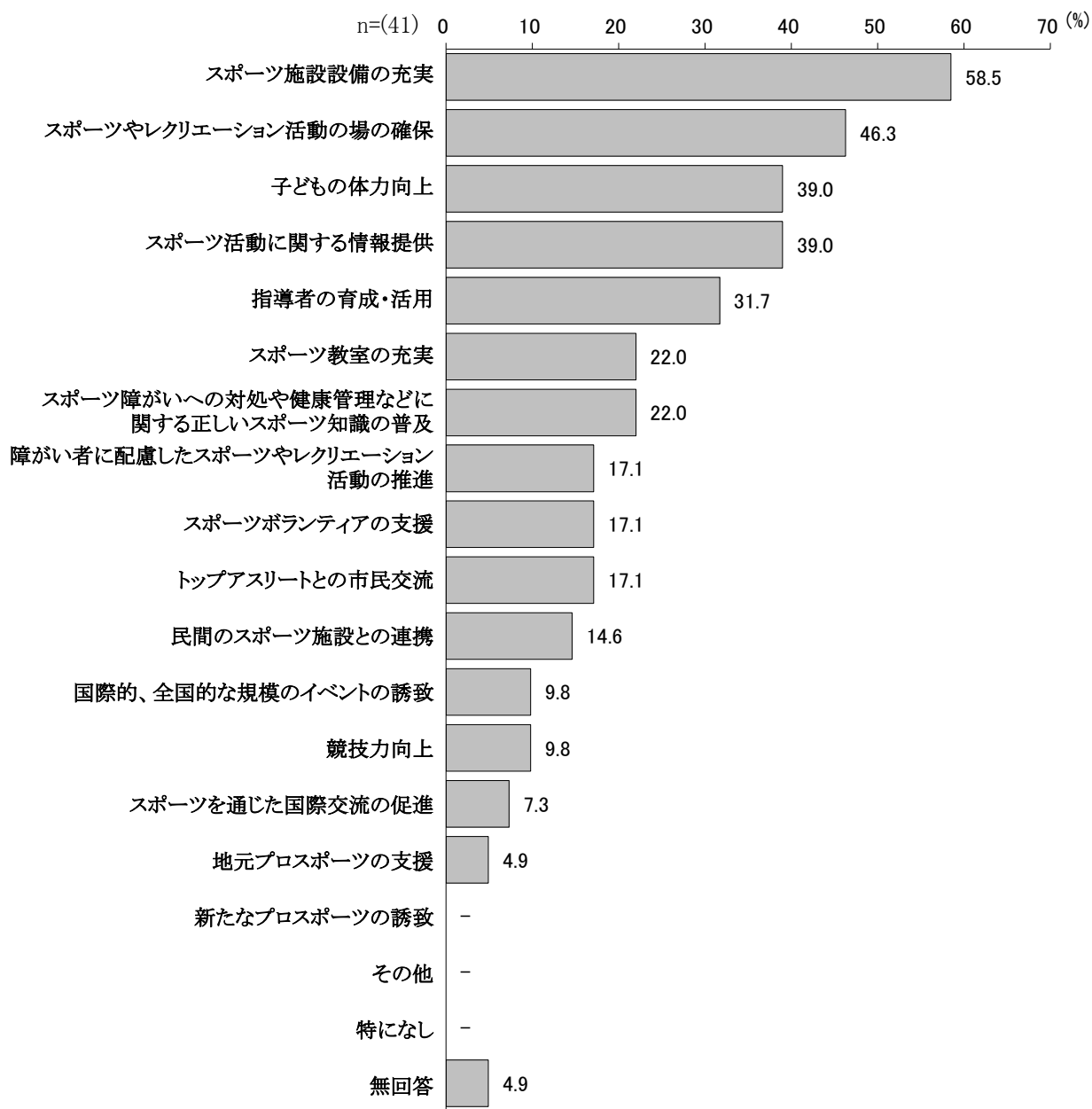
公共スポーツ施設を充実させるために必要なこと(団体)



## ウ 市のスポーツ推進計画について

(ア) 今後市に力を入れてほしいこととして、「スポーツ施設設備の充実」が58.5%で最も多く、次いで「スポーツやレクリエーション活動の場の確保」が46.3%、「子どもの体力向上」、「スポーツ活動に関する情報提供」が39.0%となっています。

運動・スポーツをもっと振興させるために、市に力を入れてほしいこと(団体)



## 4 第1期計画のまとめ

第1期計画では、基本理念の基に5つの基本目標を設定し、それに伴う24の事業を実施してきました。また、子どものスポーツに係る数値目標を設定しました。

ここでは、第1期計画期間の事業実施状況や数値目標の達成状況をもとに、成果や課題をとりまとめます。

### 【第1期計画の施策の実施状況まとめ】

基本目標	項目	実施状況					事業数
		5	4	3	2	1	
1	スポーツ施設の整備・充実	-	3	1	-	-	4
2	スポーツ事業の充実	-	6	3	1	-	10
3	スポーツ指導者の育成	-	1	1	-	1	3
4	スポーツ活動の支援	-	1	1	1	-	3
5	学校体育と運動部活動の充実	-	4	-	-	-	4
計		-	15	6	2	1	24
		-	62.5%	25.0%	8.3%	4.2%	

### ※実施状況の説明

評価	判断基準
5	十分
4	ある程度十分
3	あまり十分でない
2	不十分
1	未実施

事業の実施状況においては評価のあった全24事業中、ある程度十分に実施した事業は15事業（62.5%）、あまり十分ではない事業は6事業（25.0%）、不十分な事業は2事業（8.3%）、未実施は1事業（4.2%）となっています。

### 【第1期計画の総括】

幅広い年代の方がスポーツに取り組めるよう、老朽化した施設の整備やさまざまなスポーツ事業の充実に努めてきました。

今後も、年代や障がいの有無を問わず誰もがスポーツを楽しめる環境や機会を整備することが重要となります。



## **基本目標1：スポーツ施設の整備・充実**

平方野球場の買収を滞りなく行い、平塚サッカー場については平成31(2019)年度に改修工事を行いました。また、市民体育館については必要に応じて修繕等を迅速に対応してきました。

今後は、既存施設を有効活用し、学校開放施設などで修繕が必要となってくるところに対しては計画的に進めていきます。

## **基本目標2：スポーツ事業の充実**

スポーツ事業については、さまざまな年代の方のニーズに応えられるように、内容を検討しながら実施してきました。スポーツ推進委員主催の事業では、幅広い年代が取り組めるようニュースポーツの普及を含めた教室を開催しました。

今後も、時代や年代にあわせた内容を検討して、市民の誰もがスポーツを楽しめるように働きかけていきます。

## **基本目標3：スポーツ指導者の育成**

スポーツ協会主催のスポーツ講演会などを通じて指導者の育成や指導力の向上を行ってきました。今後も、市民の誰もがスポーツを楽しく安全に行えるよう、指導者の指導力育成に努めます。

## **基本目標4：スポーツ活動の支援**

毎年多くの子どもたちが上尾市小学生ドッジボール大会に参加しています。平成28(2016)年度まで実施されていた上尾市なわとび大会については、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒の運動習慣作りに大いに貢献しました。また、中学生バレーボール教室については、実業団選手やコーチと触れ合う中で、競技に対する取組に大きな向上がみられました。

今後は、スポーツを通じた世代間交流が行える環境づくりを支援するとともに、子どもの体力向上に向けた事業への参加啓発を進めていきます。

## **基本目標5：学校体育と運動部活動の充実**

市内の小・中学校における体育科・保健体育科の授業では、運動量を確保した授業実践や友達との学び合いを充実させた授業など、工夫ある取組を続けてきました。また、体育主任会議や県が実施する講習会を通じて、教員や部活動指導者の指導力向上に努めてきました。

今後は、新学習指導要領に合わせ、これまで以上に体育科・保健体育科授業の充実に努めます。また教員向けの研修会については実施方法を工夫し充実した研修となるよう努め、部活動指導者については県が実施する講習会への積極的な参加を進めていきます。

【第1期計画の数値目標まとめ】

目標指標		計画開始時 (平成26(2014) 年度)	計画終了時 <sup>※2</sup> (平成31(2019) 年度)	目標値
新体力テストの総合評価 が「A」「B」「C」の児童 生徒の割合 <sup>※1</sup>	小学生	78.5%	81.9%	83%以上
	中学生	86.1%	85.8%	87%以上

※1：中間時と計画終了時の数値は埼玉県「埼玉県児童生徒の新体力テスト」による上尾市の数値（それぞれのテスト項目の成績を年齢及び性別ごとに区分した項目別得点表に当てはめ、1点から10点の10段階で点数化します。次にそれらの8項目の合計点を年齢別の総合評価基準表に当てはめ、AからEの5段階で総合評価し、平均的な水準である「C」評価までの生徒の割合を目標指標とします。）

※2：第1期計画の終了年は令和2(2020)年度だが、コロナ感染症の影響により令和2(2020)年度に「埼玉県児童生徒の新体力テスト」を行わなかったため、平成31(2019)年度を最終年度としています。

計画開始時と計画終了時を比較すると、小学生の新体力テストの総合評価「A」「B」「C」の割合は上昇しましたが、中学生はわずかに低下しました。また、平成31(2019)年度はどちらも目標値を達成することはできませんでした（ただし、中学生は平成28～29(2018～2019)年度では達成しています）。児童・生徒がより運動に親しみを持ち、積極的に取り組めるよう支援していく方法を今後とも検討する必要があります。

## 5 アンケート結果などに基づく課題の整理

アンケートの調査結果などをもとに、今後取り組むべきスポーツ施策の課題について以下のよう  
にまとめました。

### スポーツ環境の整備

- (1)市民のアンケートでは運動やスポーツを行った場所として道路や遊歩道また公園などの共用スペースが多く挙げられています。生活に身近な場所を活用して、市民が安心・安全に運動・スポーツができる環境づくりが重要です。
- (2)市民、子ども、団体のアンケートで、市の運動・スポーツを進行させるために市が力を入れるべきこととして、いずれも「スポーツをする施設や環境の充実」が多く挙げられています。新規のスポーツ施設の建築は見込めない状況ですが、既存施設を有効活用できるよう、メンテナンスの充実などを検討していく必要があります。

### 市民のスポーツに対する意識

- (1)運動・スポーツを週1日以上実施した人の割合(スポーツ実施率)のうち、50歳以下の実施率が全体の割合(61.7%)を下回っています。その多くがスポーツをしなかった理由として、仕事・家事・育児の忙しさが特に多く挙げられており、ライフステージ上の変化に伴う時間的な制約がスポーツを実施できない一因になっていることが考えられます。
- (2)40代未満の女性はスポーツ実施の理由として「体力の維持や健康のため」を挙げる割合が他の年代と比較して低いことから、加齢などによる健康不安が顕在化しておらず、運動・スポーツの積極的な動機付けにも乏しいと考えられます。
- (3)健康面から考えると運動・スポーツを習慣化していくことは重要であり、またスポーツを通じた精神的な充足感の獲得など、心の健康の増進・保持も図られることから、忙しい人やスポーツに関心がない市民に対しても、各々のライフステージに合わせた運動・スポーツを始めるきっかけづくりを提供することが重要です。

## スポーツを通じた共生社会の実現

- (1)障がい者スポーツに関心がある18歳以上の市民はわずか2割となっています。多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、障がい者スポーツへのさらなる理解促進が重要となります。
- (2)スポーツに関するボランティア活動を行ったことがない市民は9割以上となっています。スポーツを支える視点から関心を喚起する取組が重要です。

## 地域におけるスポーツ活動

- (1)スポーツの楽しみ方を指導し、興味・関心をわかせるような指導者が求められています。スポーツを支える人材の育成が重要です。
- (2)近年、各スポーツ関係団体の指導者や団体運営に携わる方の高齢化や後継者不足により、市民のスポーツ活動を継続的に支えることが厳しくなってくると見込まれます。新たな後継者やスポーツを「支える」人材の発掘、育成が求められています。

## 子どものスポーツ活動

- (1)子どもの体力は低下しており、将来的には国民全体の体力低下につながり、社会全体の活力が失われる事態が危惧されます。
- (2)スポーツは、健全な子どもたちの育成に役立っているものですが、現状では、子どもたちにとってスポーツの定義が「スポーツ＝競技性の強いスポーツ(運動部活動)」と狭いことが考えられ、競技スポーツが苦手な子どものスポーツ離れの一因と考えられます。
- (3)子どもが学校や運動部活動以外でもスポーツを楽しみ、親しめる機会を提供することが重要です。

### 第3章 具体的な施策展開

## 第3章 具体的な施策展開



# 1 基本方針

## (1) 基本指針

市ではこれまで、スポーツを通じた心身の健康や体力向上及びそれぞれの夢の実現を目指してきました。さらに、スポーツを「する」機会だけでなく、「みる」「ささえる」機会を提供することにより、市民の誰もがスポーツに親しめる環境整備に取り組んできました。

近年、少子高齢化など、社会を取り巻く環境が大きく変化している中で、スポーツには「共生社会の実現」や「地域の活性化」といった効果があると期待されています。また令和2(2020)年には新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発令されました。学校は休校となり、職場ではテレワーク中心の生活が始まるなど、生活が一転しました。社会活動はもとより、スポーツ界にも大打撃を与えていますが、このような時期だからこそ、心身の健康に不可欠なコンテンツである「スポーツ」の価値が再認識されるものと考えます。本計画では「疾病に対しての対策」として、関係各課と連携を取りながら別途対策案を作成し、スポーツの新たな在り方を考えながら、市民のスポーツ活動推進に取り組んでまいります。

本計画では、第1期計画の考え方を引き継ぎ、基本理念を以下のとおり掲げます。また、上記のような近年の社会情勢やアンケート結果を踏まえ、課題解決に向けて新たな目標を掲げ、今後の市のスポーツ施策を推進していきます。

～健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進～



## (2) 持続可能な社会に向けた動き

地球温暖化や生物多様性の喪失、人口減少・少子高齢化など、世界が大きく変化し続けている中で、これまでの大量生産・大量消費型経済を継続することが困難とみられています。このような中、自然環境と共生し、従来とは異なる文化的・精神的豊かさを実現できる持続可能な社会モデルへの転換を求める動きが強まっています。

平成27(2015)年に国際連合は17のゴールと169の具体的なターゲットから成る「持続可能な開発目標 (SDGs)」を定めました。そのうち、目標3では「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」、目標4では「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことが謳われています。本計画ではこの目標に沿った事業推進を行います。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> 	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> 	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
--	---	---	--



### (3) 技術革新の進展

近年、ICT（情報通信技術）や、AI（人工知能）、IoT（モノがインターネットとつながる仕組み）、ビッグデータ（インターネット上に蓄積される膨大なデータ）などの進展により、わが国は大きな社会変革に差し掛かっています。

国では、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）、に続く新たな社会を目指すものとして、「Society5.0」を提唱しました。「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」です。

これをスポーツ活動の分野に応用できるとすれば、トップアスリートのようにスポーツ分野において世界的な活躍を目指す人から、介護予防のためにスポーツを行う高齢者まで、一人ひとりに適した形態でのスポーツの実施や指導を推奨することが可能になると言われています。また、ICTやデータ活用などによる施設の維持管理・更新を効率化していくとともに、これまでのスポーツ施設の在り方にとらわれないスポーツ実施のための環境整備にもつながると考えられています。

市民一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができる社会を実現するために、本計画ではすべての市民が自身のスポーツ活動を継続できるよう、さまざまな角度からの支援を行う体制を整備していきます。



引用：内閣府「Society5.0」

## 2 数値目標

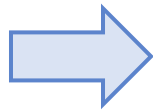
計画の基本目標に基づき、令和3(2021)年から令和7(2025)年において下記のとおり数値目標を設定し、その達成を目指します。

I

週1日以上スポーツを行う18歳以上の市民の割合

(令和2(2020)年)

61.7%



(令和7(2025)年)

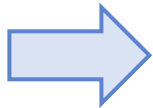
65%以上

II

年1回以上スポーツを実際に観戦する18歳以上の市民の割合

(令和2(2020)年)

22.2%



(令和7(2025)年)

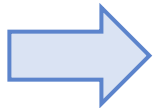
40%以上

III

スポーツに関するボランティア活動を行う市民の割合

(令和2(2020)年)

4.8%



(令和7(2025)年)

10%以上

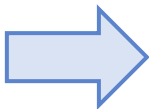
IV

新体力テストの総合評価が「A」「B」「C」の児童生徒の割合

(平成31(2019)年度)

小学生

81.9%

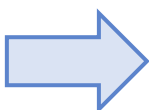


(令和7(2025)年)

85%以上

中学生

85.8%



90%以上

### 3 施策の体系

<基本指針>

<基本目標>

<施策>

健康で活気に満ちたスポーツ活動の推進

1

誰もがスポーツを楽しめる環境の充実

(1) スポーツ施設の整備と効率的な管理運営

(2) 学校開放施設の整備

2

誰もがスポーツを楽しめる機会の充実

(1) 各種スポーツ大会の開催

(2) スポーツにふれあう機会の創出

(3) 「観るスポーツ」の機会の提供

(4) スポーツ情報の提供

(5) 共生社会の実現

3

地域におけるスポーツ活動の活性化の推進

(1) スポーツ推進委員の活動支援

(2) スポーツ指導者の育成支援

(3) スポーツ団体の活動支援

4

子どものスポーツ活動の充実

(1) 子どものスポーツ機会の充実

(2) 体育・保健体育授業の充実

(3) 運動部活動の充実

## 4 施策の展開

### 基本目標

### 1

### 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実



#### (1) スポーツ施設の整備と効率的な管理運営

多様な市民のニーズに対応するとともに、生涯にわたりスポーツに親しめるよう、スポーツ施設の整備や効率的な管理運営など、スポーツを継続的に行うための環境づくりを行います。

事業名	内容	担当課
スポーツ施設の整備	市民へのアンケート調査により、「スポーツをする施設や環境の充実」が多く挙げられています。 このため、屋外・屋内にある既存施設を有効に利用できるようにメンテナンスの充実を図り、利用時間の拡大など、市民や関係団体の意見を取り入れながら、幅広い世代の市民がより安全・安心に利用できるスポーツ施設の在り方を検討し、環境整備を図ります。	スポーツ振興課

#### (2) 学校開放施設の整備

スポーツ施設以外でも、身近なスポーツ活動の拠点として、学校開放施設の有効利用を推進していき、より身近な場所でスポーツに親しめる環境を充実させていきます。

事業名	内容	担当課
学校開放施設の整備	学校開放施設については、各学校に「学校施設開放運営委員会」が組織されており、施設の管理・運営を行っています。身近なスポーツ活動の拠点として、施設の有効利用をさらに推進します。 そのため、老朽化している学校開放用トイレ・倉庫などの施設の建て替えや修繕を計画的に進め、より良い地域スポーツ活動が行える環境作りを行います。	スポーツ振興課

## (1) 各種スポーツ大会の開催

誰もが参加できる各種スポーツ大会を開催できるよう働き掛けます。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会支部や加盟団体、スポーツ推進委員などによる各種大会の開催	<p>上尾市スポーツ協会支部や加盟団体では、「地区体育祭」や「競技別各種大会」などを実施しています。</p> <p>今後は各競技団体と連携し、時代や年代に合わせた競技内容を検討するなど引き続き多くの市民が参加できるよう努めます。</p>	スポーツ振興課
ボランティアの活用と育成	<p>上尾シティハーフマラソン、市民体育祭や市民駅伝などは、多くの市民ボランティアに支えられています。こうした多くの市民ボランティアによる「支えるスポーツ」は新たなスポーツ振興の一つの形となることから、ボランティアの積極的な活用を図るとともに、各種イベントなどにおいてボランティアの体験をする機会を設け、ボランティアの育成を図ります。市民アンケート結果より、「ボランティア活動を行ったことがない」との回答が9割以上だった事を踏まえ、広くボランティアを募りながら参加を喚起すると同時に、上尾市全体のPRを図るよう取り組み、地域の活性化を図ります。</p>	スポーツ振興課
各種大会の効率的な運営と参加者層の拡大	<p>上尾シティハーフマラソンなどの各種スポーツ大会は、毎年多くのボランティアの協力を得て、市民のスポーツ活動の場として定着しています。今後は「スポーツを楽しむことができるイベントや大会が開催されること」に対する市民のニーズが高いことを踏まえ、各種大会などの開催については時代に即した内容を検討し、より多くの市民へ参加の機会を提供します。</p> <p>また、障がい者の健康増進、社会参加の促進や障がい者に対する市民の理解を促進するために、障がい者が広くスポーツに参加できる機会の確保と環境づくりの推進を図ります。</p>	スポーツ振興課

事業名	内容	担当課
いきいきクラブ各種スポーツ大会	高齢者がスポーツを通して親睦を深め、体力の維持・増進を図るとともに、健康で明るい生活を送れるよう各種大会を支援していきます。	高齢介護課

## (2) スポーツにふれあう機会の創出

市民それぞれのライフステージや身体の状態に応じたスポーツ活動を推進していきます。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会支部や団体、スポーツ推進委員などによる教室の開催	<p>上尾市スポーツ協会では、「いきいき推進事業」などの地域の交流と体力づくりなどを目的に各種教室を開催しています。</p> <p>また、スポーツ推進委員は、地域住民を対象にミニバレーなどのニュースポーツをはじめ、ドッジボール大会など各種スポーツの普及に取り組んでいます。</p> <p>市民アンケート結果により、個人で実施可能な種目にニーズが高まっていることから、今後はさまざまなニーズに対応した地域スポーツ教室の充実を検討し、各種スポーツ事業を関係団体や地域自治会などと協力・支援していきます。</p>	スポーツ振興課
指定管理者によるスポーツ事業・教室の開催	<p>指定管理者が市民体育館管理運営を行っていることにより、日頃からスポーツに親しむ機会の少ない市民を対象に体力相談室兼トレーニング室で器具を使った教室や軽スポーツ教室を実施します。さまざまな年代の人が参加しやすい時間帯で教室を開催することにより、スポーツの普及に取り組みます。</p>	スポーツ振興課
市内施設の機能拡充	<p>市民が個々の体力や適性に応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充に努めます。</p>	スポーツ振興課
都市公園の指定管理業務における提案事業による教室等の開催	<p>上平公園においてテニス教室、ランニング教室、サッカー教室など、戸崎公園においてパークゴルフ教室を開催し、市民がスポーツにふれあう機会を創出します。</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニング教室</li> <li>・ハートフルサッカー教室（浦和レッズ）</li> <li>・テニス教室                      など</li> </ul>	みどり公園課

事業名	内容	担当課
一般介護予防事業	住民主体による、転倒予防や体力づくりを目的とした介護予防体操等を行っています。	高齢介護課
埼玉県コバトン健康マイレージ	県が実施している「埼玉県コバトン健康マイレージ」事業は、専用のスマートフォンアプリや専用歩数計を使ってウォーキングを楽しく行い、健康づくりを進めていく事業です（市の参加対象者は、市内在住で18歳以上の人）。歩数などに応じて、県や市からの賞品の抽選に参加できます。また、市では本事業と連動してウォーキングや筋力アップなどの各種運動講座を実施し、市民が楽しく継続した健康づくりができるように努めています。	健康増進課

### (3)「観るスポーツ」の機会の提供

スポーツ観戦の手段は多様化していますが、実際に会場で観戦することで臨場感や一体感を味わうことができるなど、スポーツの楽しさを肌で感じることができます。そのため、市内での競技大会の開催による観戦機会の充実及び観戦機運の醸成を図ります。また、市民が出場する全国大会の情報提供を行います。

事業名	内容	担当課
「観るスポーツ」の機会の提供	<p>市内におけるスポーツの全国大会などの開催は、市民がプロスポーツや実業団などのトップレベルの競技を実感することによって、スポーツに親しむ人が増加するとともに、「観るスポーツ」の場を広げることで、市民のスポーツ参加意欲を高めます。また、市の魅力を多くの人々に情報発信する貴重な機会となります。</p> <p>他県から選手や関係者、観戦者が訪れることにより、直接的・間接的な経済効果も期待できます。</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校野球</li> <li>・プロ野球イースタンリーグ</li> <li>・ベースボール・チャレンジ・リーグ（BCリーグ）</li> <li>・Vリーグ（バレーボール） など</li> </ul>	<p>広報広聴課 スポーツ振興課 みどり公園課</p>



#### (4) スポーツ情報の提供

市民の誰もがスポーツに親しむことができるよう、市のホームページなど多様な媒体・手段を活用してスポーツに関する情報を提供していきます。

事業名	内容	担当課
市ホームページなどを活用したスポーツ施設の案内やイベント情報の発信	インターネット上に生涯スポーツに関するホームページを開設し、市民体育館や運動場などスポーツ施設の情報、スポーツイベントやスポーツ教室、スポーツ団体や指導者の情報を提供していきます。	スポーツ振興課
体育館や公民館などで活動するスポーツサークルの紹介	市民が参加を希望するスポーツを把握し、スポーツに接する機会を増やすため、市民体育館や公民館などを利用している市民や団体などからの情報の提供を受け、情報の発信ができる体制を整え、広報誌に掲載して周知を図るとともに、情報提供の充実に努めます。	スポーツ振興課

#### (5) 共生社会の実現

障がいの有無を問わず、互いを理解して尊重し合う共生社会の実現を目指し、障がい者スポーツの関心度向上や触れ合う機会を創出していきます。

事業名	内容	担当課
健常者と障がい者の交流事業	上尾市ふれあい広場は、障がいを持つ人たちの自立と障がい者への理解と促進、市民の方々とのふれあいを図ることを目的に開催しています。障がい者スポーツの体験コーナーなど（※）を通じて、障がい者と市民との交流を継続してまいります。 ※ボッチャ 太鼓体験 デコレーション卓球 障がい者ボウリングなど	障害福祉課





(1) スポーツ推進委員の活動支援

市のスポーツ推進を支えるスポーツ推進委員の更なる資質向上を図ります。

事業名	内容	担当課
スポーツ推進委員の研修会等の開催	<p>スポーツ推進委員は、スポーツ推進のための連絡調整や地域スポーツのコーディネート、専門性を生かしたスポーツ指導など生涯スポーツ社会実現のために活動しています。地域スポーツを支えるスポーツ推進委員が更なる資質向上を図るために、国・県などの主催する研修会や自主研修などへ参加を支援します。</p> <p>また、今後は幅広い世代に向けたニュースポーツの普及に取り組めます。</p>	スポーツ振興課

(2) スポーツ指導者の育成支援

多様化する市民のスポーツニーズに対応するため、スポーツ活動の担い手となる指導者の育成に努めます。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会と連携したスポーツ講演会・講座等の開催	<p>指導者の専門性や資質の向上を図るため、さまざまな分野の指導者情報を収集・提供するとともに、指導に関する情報交換を行うなど各スポーツ関係団体と連携し、指導者養成講習会や技術研修会などの充実を図ります。</p> <p>また、生涯スポーツに関する正しい知識の普及を目指します。</p>	スポーツ振興課

### (3) スポーツ団体の活動支援

市民へのスポーツ振興の中心的な役割を担えるよう、市内で活動するスポーツ団体の活動支援を行います。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会への活動支援	市のスポーツ推進を図る上での重要なパートナーとして、スポーツ協会組織の基盤強化及び活動の充実に向けての事業補助を行い、また市と同協会が協働し、より一層の市民へのスポーツ振興の中心的な役割を担えるよう、支援及び自主自立の運営ができる体制づくりを図ります。	スポーツ振興課
総合型地域スポーツクラブの育成・支援	誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するために、多世代、多様な技術・技能レベルに属し、多様な興味・関心を有する者が参加できる総合的地域スポーツクラブの育成・支援を行います。 また、広報活動など検討し、総合型スポーツクラブの育成に関する情報提供を行い、スポーツを通して世代間交流が行える環境づくりを推進します。	スポーツ振興課



(1) 子どものスポーツ機会の充実

子どもの体力向上に向けて、上尾市子どもの体力向上地域連携協議会を設置します。

事業名	内容	担当課
子どもの体力向上地域連携事業の充実	<p>子どもの体力向上の実態を把握するとともに、子どもの体力向上に向けた地域連携に関する事項を協議するため、上尾市子どもの体力向上地域連携協議会を設置し、子どもの体力向上地域連携事業を実施します。</p> <p>この事業は、外遊びを通じて子どもに日々の運動をする習慣をつけるため、スポーツ推進委員による小学生を対象にしたドッジボール大会や市内の実業団チームの協力を得て、中学生を対象としたバレーボール教室を開催しています。また、スポーツの裾野拡大と子どものスポーツ機会の充実を図るためにスポーツ少年団と連携します。</p> <p>今後も関係機関・団体と連携を図り、子どもたちが遊びを通じ、日常的に運動を行えるような事業の充実を図ります。</p>	指導課
児童生徒体力向上推進事業	<p>市立小・中学校の児童生徒の体力向上を図り、心身ともに健やかでたくましい人づくりを目指しています。上尾市中学校体育連盟の学校総合体育大会及び県民体育大会兼新人体育大会の市内予選会や中学校バレーボール教室、小学校体育連盟の陸上競技大会などの実施を通して、児童生徒の体力向上を目指しています。</p>	指導課
中学校部活動支援事業	<p>部活動の充実及び活性化、生徒の意欲の向上と技能の向上を図るとともに、生涯スポーツ・文化に親しむ習慣の基礎を養うために、部活動指導員の配置を行います。また、全国・関東大会に出場する生徒の派遣にかかる費用を負担し、保護者負担を軽減します。</p>	指導課

## (2) 体育・保健体育授業の充実

現場指導者の困り感などに寄り添い、児童生徒の実態に即した授業を実施できるよう取組を進めます。

事業名	内容	担当課
児童・生徒の実態に応じた運動の取り組み	新学習指導要領の実施に合わせ、これまで以上に体育科・保健体育科授業の充実に努めます。また「カリキュラム・マネジメント」の視点で、各校における教育活動を見直し、教育活動全体で「体力向上」を図ることができるよう、教育課程の充実に取り組みます。	指導課
教員の指導力向上研修会等の実施	充実した体育主任会議を実施し、各校における体育科・保健体育科授業における指導の改善につなげていきます。また、現場指導者の困り感などに寄り添い、児童生徒の実態に即した授業を、指導者が自信をもって実施していくための一助となるよう、研修会の実施方法を工夫します。	指導課

## (3) 運動部活動の充実

子どもの心身の健全な発達や自主的なスポーツ活動を促し、生涯にわたってスポーツに親しめるよう、運動部活動における指導の充実や研修などを行います。

事業名	内容	担当課
部活動における外部指導者等の活用	地域や学校の実情に応じた運動部活動を推進・活性化し、いきいきとした子どもの育成に努めます。 外部指導者の計画的導入によって、運動部活動の活性化に努めます。また、単独で部活動を行うことができない学校には合同で部活動を行えるよう努めます。	指導課
部活動指導者の指導力向上研修会等の実施	教育の一環である部活動の指導者は、安全かつ子どもの健全な成長に多大な影響があることから、指導力向上に努める必要があります。 このことから、部活動指導者講習会への参加を奨励するなど、指導者の資質向上を図ります。	指導課

## 第4章 計画の推進



## 1 推進体制

本計画を推進するためには、市民、スポーツ関係団体、スポーツ指導者などのさまざまな主体の協働があってはじめて実現できるものです。

今後は、スポーツ推進委員連絡協議会、市スポーツ協会などスポーツ団体、PTAなどの地域団体、医療等機関、実業団チームと連携しながら進めていくとともに、ネットワークの形成に努め、本計画を推進していきます。

なお、本計画に基づくスポーツの推進については、国及び県、並びに社会情勢の変化なども勘案して、必要に応じて計画の見直しを行います。

## 2 進行管理

計画の実現のためには、計画に即した取組がスムーズに実施されるように管理するとともに、計画の進捗状況把握し、年度ごとに実施状況及び成果を点検・評価し、検証していく必要があります。

具体的には、以下の図のようなPDCAサイクルに基づいて進捗管理を行います。

